



一般社団法人
タウンスペース WAKWAK
2020年度 事業報告

すべての人に居場所と出番がある社会、すべての人がSOSを発信でき、互いに支え・支えられる社会、新しい公共としての住民主体による「自立」「参加」「協働」による地域の再生と互いに絆を結び合えるつながりの地域社会をめざして以下のとおり事業を行いました。

今期は新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、わくわく食堂をはじめ多くの事業が中止せざるを得ない状況になりました。また、法人の社会貢献事業を支える収益事業の柱の一つである講師派遣・視察受け入れが軒並み中止となり法人の財政面においても大きなダメージがありました。その中で事業や会議等のオンライン（ZOOM）開催を導入するなど試行錯誤しながらの事業運営となりました。

一方で新型コロナ禍の最中でSOSを見捨てないための緊急支援プロジェクトに対する民間助成金の決定や財政面等の危機に対する関係のみなさまの応援（会費・寄付金の増加）や新たな構想（コミュニティ・スペースの創出のためのクラウドファンディング）へ多大なご支援、応援をいただきました。

I. 法人運営事業

1) 会員拡大

各種事業の場や広報活動を通じ、本法人の目的に賛同しともに活動を進めようとする正会員および賛助会員について以下の通りの会員数となりました。

	会員数	口数	前年度会員数	口数
正会員（団体）	1	5	1	5
〃（個人）	16	19	16	19
賛助会員(団体)	2	2	1	1
〃（個人）	80	341	46	186
合計	99名	367口	64名	211口

2) 理事会、社員総会および企画運営スタッフ会議の開催

①理事会の開催

日時	場所	議案
第1回理事会 5月26日（火）	書面開催	<p>（報告案件）</p> <p>第1号議案 2019年度事業報告承認について</p> <p>第2号議案 2019年度決算報告について</p> <p>第3号議案 理事の任期満了に伴う改選</p> <p>第4号議案 監事の任期満了に伴う改選</p> <p>第5号議案 役員報酬について</p> <p>第6号議案 定款変更について</p> <p>第7号議案 法人倫理規程制定について</p> <p>（議決案件）</p> <p>第1号議案 代表理事、副代表理事、業務執行理事の選定について</p> <p>第2号議案 各種規程の整備について</p> <p style="padding-left: 40px;">・個人情報保護規程・情報公開規程・文書管理規程</p> <p style="padding-left: 40px;">経理規程・コンプライアンス規程・リスク管理規程</p> <p style="padding-left: 40px;">内部通報規程・理事の職務権限規程・監事監査規程</p> <p style="padding-left: 40px;">利益相反防止のための自己申告等に関する規程</p> <p>※新型コロナ禍のため書面評決を行い、別途、オンライン（ZOOM）にて理事・社員を対象とした懇談会を実施した。</p>
第2回理事会 10月27日（火）	富田ふれあい 文化センター	<p><報告案件></p> <p>第1号議案 2020年度上半期事業中間報告について</p>

	研修室	第2号議案 2020年度上半期中間決算報告について <議決案件> 第1号議案 2020年度下半期事業予定について
第3回理事会 3月23日（火）	富田ふれあい 文化センター 研修室	<報告案件> 第1号議案 2021年度事業計画案について 第2号議案 2021年度予算案について <議決案件> 第1号議案 業務執行理事の役員報酬について 第2号議案 決算理事会・社員総会の日程について 第3号議案 「高槻市支援対象児童等見守り強化事業」公募エントリーについて 第4号議案 理事辞任について

②社員総会の開催

日時	場所	議案
第1回 社員総会 5月26日（火）	書面開催	第1号議案 2019年度事業報告承認について 第2号議案 2019年度決算報告について 第3号議案 理事の任期満了に伴う改選 第4号議案 監事の任期満了に伴う改選 第5号議案 役員報酬について 第6号議案 定款変更について 第7号議案 法人倫理規程制定について

		※新型コロナ禍のため書面評決を行い、別途、オンライン（ZOOM）にて理事・社員を対象とした懇談会を実施した。
第2回 社員総会 3月23日（火）	富田ふれあい 文化センター 研修室	第1号議案 2021年度事業計画案について 第2号議案 2021年度予算案について 第3号議案 理事辞任について

③企画運営スタッフ会議の開催

2020年度は理事・社員・運営スタッフ含め25名のメンバーでスタッフ会議を計2回開催しました。

- ① 10月27日 ②3月23日

3) 経営・財務管理

持続的な活動を担保していくための経営計画と適切な財務管理を行うと共に、社会貢献事業を安定的に支えていくため、富田地区の視察の受け入れや講師派遣を積極的に行い、また、チャリティグッズを導入するなど事業収入の増加を図りました。今期は、新型コロナの影響下、法人の社会貢献事業を支える収益事業の柱の一つである講師派遣・視察受け入れが軒並み中止となり、法人の財政面においても大きなダメージがありました。一方で新型コロナ禍の最中でSOSを見捨てないための緊急支援プロジェクトに対する民間助成金の決定や財政面等の危機に対する関係のみなさまの応援（会費・寄付金の増加）や新たな構想（コミュニティ・スペースの創出のためのクラウドファンディング）へ多大なご支援、応援をいただきました。

○2012年度決算（法人設立時） 7,973,202円

○2016年度決算 7,250,007円

○2017年度決算 13,870,719円

○2018年度決算 17,202,945円

○2019年度決算（前年度）	15,116,794円
○2020年度決算（当年度）	23,966,484円（純利益1,337,837円）

4) マイナンバー法施行にともなう個人情報管理

2016年1月から実施されたマイナンバー制度に伴い、法人が取り扱う特定個人情報の範囲、安全管理措置について法人基本方針ならびに取扱い規定を定め、特定個人情報の取得・利用・保管等について厳正な事務に努めました。

5) 各種規程の制定について

休眠預金を活用した「ひと・まち・げんき助成」のエントリーおよび採択に伴い、休眠預金等活用法指定団体である一般財団法人「日本民間公益活動連携機構（JANPIA）」の定める各種規程を制定し理事会・社員総会に諮ったうえ周知徹底を図りました。

（以下、新たに整備した規程類）

- ・社員総会運営規程・理事会構成規程・理事会運営規程・役員報酬および費用規程・個人情報保護規程
- ・情報公開規程・文書管理規程・経理規程・倫理規定・コンプライアンス規程・リスク管理規程・内部通報規程・理事の職務権限規程・監事監査規程・利益相反防止のための自己申告等に関する規程・事務局規程

6) 寄付金の状況

・**事業指定寄付** 法人管理事業・学習支援事業・子どもたちの夕刻を支える場・スタディツアー等に計 390,800 円の事業指定寄付を頂きました。

・**インターネット寄付** 日本財団が運営するクレジットカード決済のインターネットサービスである CANPAN サービスを通じ、計 273,736 円（手数料差引後）のご寄付を頂きました。

・クラウドファンディング 民家を改装し多様な人が「つながる・つつみこむ・出会う」空間を富田地区に創出することをコンセプトに当法人としてはじめてクラウドファンディングを実施し、予想を大きく上回る142人の支援者の方から総額2,700,551円（達成率540%）のご支援を頂きました。

※うち1,100,551円についてはリターン作成・発注・郵送費用および初期運営費（家賃・火災保険料・水道光熱費、事業運営費等）として2021年度に振り分けました。

II. 協働交流事業

1) 情報発信活動

①情報誌「WAKWAK通信」の発行

情報誌「WAKWAK通信」を計3回（第24号・25号・26号）発行しました。

	内容	発行部数
24号	(5月号) ・コミュニティ再生事業はフェーズ2「長期的なコミュニティ再生」に着手 ・富田地区コミュニティ再生事業未来にわたり住み続けたい町の姿を描く ・プロジェクト1「コミュニティ・スペースの創出」 ・プロジェクト2「教育コミュニティづくり」 ・新型コロナの事業への影響 ・子どもの居場所レポート	各1500部
25号	(9月号) ・多セクターとの共創によるコミュニティの再生 ・コミュニティ再生インクルーシブコミュニティ・プロジェクトが発足 ・プロジェクト1「コミュニティ・スペースの創出」の様子	

	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト2「教育コミュニティづくり」の様子 ・新型コロナ禍「緊急支援プロジェクト」 ・「部落解放・人権研究奨励賞」受賞 ・子どもの居場所づくり事業が内閣府HPに掲載 	各1500部
26号	<p>(1月号)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多世代型包摂型コミュニティ・スペース整備へ - クラウドファンディングを実施 - ・まちに住む子ども、大学生、子育て世帯、高齢者、障がい者、海外ルーツの人・・・多様な人が「つながる・つつみこむ・出会う」空間を高槻富田地区に創る ・多世代包摂型コミュニティ・スペース - 地域資源を活かしたまちの顔 - ・「未来にわたり住み続けたいまち」まちづくり学習会を開催しました ・第2回視察学習会は箕面市「とどろみの森学園」小中一貫校へ ・「コミュニティ再生プロジェクト」第2回（中間報告会）を開催 ・今年度のボードレスアート展はオンライン開催 ・法人中間決算等について第2回理事会を開催 ・新型コロナ禍「緊急支援プロジェクト」は継続中 ・多セクターとの共創の活動に対し大阪大学大学院「独創的教育研究活動賞」を受賞 	

② インターネットを活用した発信

「タウンスペースWAKWAK」HP (URL: <http://wak2.jimdo.com>) や「タウンスペースWAKWAK」Facebook ページの更新にも努め、日々の活動を常に発信するなど広く情報発信に努めました。

2) メディア・新聞記事等への出演・掲載等

①読売新聞「地域×ライフ」

- ・掲載箇所・テーマ：サポート「独りの子 作らない町に」
- ・内容：タウンスペースWAKWAKの活動について（新型コロナ禍の活動を中心に）
- ・掲載日：4月23日（木）

②KBS京都ラジオ 情報ワイド番組「笑福亭晃瓶のほっかほかラジオ」

- ・日時：1月20日（水）午前7時15分～30分
- ・内容：「タウンスペースWAKWAKのまちづくり活動について」
- ・出演：タウンスペースWAKWAK 事務局長 岡本工介

③ドキュメンタリー「部落の心を伝えたいシリーズ 番外編」（人権啓発資料）

- ・タイトル「つなぐ×なくす 岡本 工介」
- ・内容 グローバル（世界とつながる）＋ローカル（地域にこだわる）をテーマにアメリカ先住民居留区等での体験をふまえた高槻富田地区での活動のドキュメンタリー
- ・2020年11月完成（25分）

④ 内閣府「子供の未来応援国民運動」第3回未来応援ネットワーク事業

内閣府等が行う「第3回子どもの未来応援基金」の助成事業をうけ行った当法人の子どもの居場所づくり事業について「第3回未来応援ネットワーク事業報告書」および内閣府HPへと掲載いただきました。

⑤ 『むすびえの子ども食堂白書—地域インフラとしての定着をめざして—』

NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえが発行した『むすびえの子ども食堂白書』へ当法人の子ども食堂の取り組みを掲載いただきました。

3) ネットワーク構築、他団体との協働

WAKWAKが実施する各事業において、地域社会とのネットワーク構築、市民活動団体相互および市民・事業者・行政との連携、協働促進事業について以下のとおり実施しました。

① さにすぼ夏祭り（新型コロナウイルスの感染拡大による影響により中止）

日時：7月18日(土) 午前10時～午後3時

場所：知的障がい者福祉事業所サニースポット

内容：チャリティグッズ ポストカード等販売

② 富田富寿栄盆踊り大会（新型コロナウイルスの感染拡大による影響により中止）

日時：8月29日(土) 午後5時～9時

場所：富田富寿栄公園

③ NPO協働フェスタ（新型コロナウイルスの感染拡大による影響により中止）

④ フェスタ・ヒューマンライツ（オンライン開催）

日時：12月4日～25日（期間限定配信）

テーマ：『わたしが取り組んだ新しい生活様式』『人とのつながりを感じる瞬間』

⑤その他

ア. 富田まち・くらしづくりネットワークおよび富田地域包括支援センター/コミュニティケア会議、富田富寿栄住宅建替研究会、富寿栄連合自治会諸活動への参加を通して、地域福祉やまちづくり運動への参加と連携を図りました。

イ. 市民公益活動サポートセンターの諸活動への参加を通して、市内NPO団体等との連携を図りました。

Ⅲ. 調査研究事業

1) 研究・論文等に対する受賞

	受賞名	機関	論文・研究活動名
1	一般社団法人部落解放・人権研究所設立 50 周年記念事業 「部落解放・人権研究奨励賞」	一般財団法人 部落解放・人権研究所	『コミュニティ・オーガナイズングによる社会変革の共創 - 高槻富田地区子どもの居場所づくりの取り組み - 』
2	大阪大学国際共創大学院 「独創的教育研究活動賞」	大阪大学	「多セクターの共創による新たな多文化共生コミュニティづくりによる共創知の生成-大阪府高槻市富田地区を対象とした実践と研究の往還による試み-」

2) 論文の執筆

	投稿誌名	発行	内容
1	紀要『部落解放研究』 213号	一般財団法人 部落解放・人権研究所	『コミュニティ・オーガナイズングによる社会変革の共創 - 高槻富田地区子どもの居場所づくりの取り組み - 』

3) 原稿の執筆

	雑誌名	発行	内容
1	『ヒューマンライツ』 389号	一般財団法人 部落解放・人権研究所	「新型コロナ禍の子どもの居場所 - (一社) タウンスペース WAKWAK による緊急支援プロジェクト実践報告」
2	解放新聞 全国版 2959号	解放新聞社	「新型コロナ緊急支援プロジェクト実践報告」
3	雑誌『部落解放』 791号	解放出版社	本の紹介「トランプ政権下のアメリカ、もう一つの今」 鎌田遵著『癒されぬアメリカ - 先住民社会を生きる』の 紹介

4) 共同研究・研究会・科研プロジェクト等への参加

①大阪大学との共創知を生み出す取り組み

富田地区の実践および研究を深めるべく 2019年に OOS協定を締結した大阪大学とコミュニティ再生事業等に取り組む、その実践を報告書にまとめるなど共同研究を行いました。また、大学院生が公共施設や NPO 等にインターンとして出向き学びを深める「公共サービスラーニング」の受け入れを行いました。

※OOS（大阪大学オムニサイト）とは：「共創知」を生み出す場をテーマに産官社学連携により、共生社会を創造していくための新たな仕組のこと。

ア. コミュニティ再生事業の協働実践

大阪大学より3人の学識者とそれぞれの学識者のゼミに所属する9名の大学生および院生とともにプロジェクトの協働実践を行いました。

イ. 公共サービスラーニングの受け入れ

10月から3月にわたって大阪大学人間科学研究科比較行動学研究分野より院生の受け入れを行いました。

ウ. 未来共創センターOOS シンポジウムへの参加および報告

3月5日（金）に開催されたシンポジウムへと参加するとともに活動報告を行いました。

②子ども若者研究子ども・若者の「居場所」づくり研究への参画

- ・研究代表者 大阪大学教授 高田一宏
- ・趣旨 子ども・若者の「居場所」づくり・学習支援・「子ども食堂」などのフィールド調査を通じて、貧困や社会的排除に直面する子ども・若者への支援を持続的に行う政策・実践の課題をあきらかにする。
- ・プロジェクト期間：3年間
- ・日時：5月30日（日）・11月7日（日）・3月7日（日）

③ソーシャルワークと教育研究会

- ・趣旨 ソーシャルワークの必要性が謳われる中、持続的な子ども・若者支援システムの構築にむけた政策的・実践的示唆を明らかにし、教育・福祉連携の理論構築を図り、各地の取り組みを活性化することを目的に開催。
- ・主催：一般社団法人部落解放・人権研究所

ア. 高槻富田地区の取り組み（報告者：一般社団法人タウンスペース WAKWAK 事務局長 岡本 工介）

9月19日（土）10時～12時

オンライン（ZOOM）開催

イ. 箕面北芝の取り組み（報告者：特定非営利活動法人暮らしづくりネットワーク北芝）

11月21日（土）10時～12時

オンライン（ZOOM）開催

ウ. 箕面市社会福祉協議会の取り組み（報告者：元箕面市社会福祉協議会職員ほか）

1月23日（土）10時～12時

オンライン（ZOOM）開催

④大阪大学マイノリティ教育ラボへの参画

・研究代表者 大阪大学未来共創センター未来共生プログラム特任教授 榎井縁

・趣旨 教育現場における多様なマイノリティに対する諸課題について「マイノリティ教育ラボ」を共通の受け

皿として設置し、様々な学問領域の研究者のみならず現場の実践者、市町村との協働を通して、全国的

なモデルとなるような大阪発のマイノリティ教育の研究・実践を行う。

・6月18日（木）研修会において高槻富田地区の子どもの居場所づくりについて報告

⑤その他

富田地区の研究を深めるべく大阪大学や近隣の大学の研究者や大学院生を富田地区の学校等へつなぐとともに協働実践・研究を行いました。

IV.新たな福祉と人権・協働のまちづくり事業

1) 地域福祉グランドデザインづくり事業

①未来にわたり住み続けたいまち高槻富田地区コミュニティ再生事業

・趣旨：高槻市による市営住宅の建て替えをはじめ「富田地区まちづくり基本構想」の流れに並行して、2019年に

当法人として未来にわたり住み続けたいまち高槻富田地区コミュニティ再生事業を立ち上げました。

2019年度はフェーズ1「市営住宅の建て替えに多様な層の声を届ける」事業を実施し、今年度は引き続きフ

フェーズ2「長期的なコミュニティの再生」を目的に地域・家庭・学校・行政・大学・企業等多セクターとの共創の仕組みとして「富田地区インクルーシブ・コミュニティ・プロジェクト」を立ち上げ、プロジェクト1「コミュニティ・スペースの創出」とプロジェクト2「教育コミュニティづくり」の2つのプロジェクトに取り組みました。高槻市の施策においては、2021年度末をめどに公共施設再配置と施設一体型小中教育一貫校を柱とする「富田地区まちづくり基本構想」策定と2022年度からの富寿栄住宅建替事業第一期工事の本格着工に至りました。

ア. 富田地区インクルーシブ・コミュニティ・プロジェクトの構成・参画団体

セクター	参画団体等
座長	大阪大学大学院人間科学研究科 教授 志水 宏吉
学識者	大阪大学大学院人間科学研究科 教授 渥美 公秀 大阪大学大学院人間科学研究科 教授 高田 一宏 関西大学文学部 教授 若槻 健 平安女学院大学短期大学 准教授 新谷 龍太郎
弁護士	NPO 法人子どもセンターぬっく 代表 森本 志磨子
○地 域	富田まちくらしづくりネットワーク、富寿栄老人会、社会福祉法人つながり、民生委員・児童委員、部落解放同盟高槻富田支部
○大 学	大阪大学、関西大学、平安女学院短期大学 大阪大学人間科学研究科志水宏吉ゼミ、渥美公秀ゼミ、高田一宏ゼミの大学生及び大学院生
○企 業	阪急阪神ホールディングス株式会社
○学校	高槻市立第四中学校・赤大路小学校・富田小学校 ※学校による総合的な学習の時間「いまとみらい科」の協働

イ. プロジェクト会議の開催

	日時	形式	参加者数	内容
第1回	2020年6月12日(金) 18時半～20時半	ZOOM	40名	① 顔合わせ・自己紹介 ② コミュニティ再生プロジェクト概要共有 ③ 各ワーキンググループの顔合わせ
第2回	2020年10月29日(木) 18時半～20時半	ZOOM	39名	① プロジェクト新メンバー紹介 ② プロジェクト進捗状況(事業中間報告)
第3回	2021年3月5日(金) 18時半～20時半	ZOOM	38名	① プロジェクト新メンバー紹介 ② プロジェクト報告・総括 ③ 次年度以降のプロジェクトの方向性

ウ. プロジェクト学習会

名称	日時	場所・形式	参加者数	内容
第1回	2020年6月30日(火) 17時半～19時	ZOOM	31名	テーマ「教育コミュニティについて」 講師：大阪大学教授 高田一宏氏
第2回	2020年7月16日(木) 17時半～19時	ZOOM	30名	テーマ「教育における排除と包摂」 講師：大阪大学教授 志水宏吉氏
第3回	2020年7月16日(木) 19時～20時	ZOOM	30名	テーマ「富田地区包摂型のまちづくり」 タウンスペース WAKWAK 事務局長 岡本工介
第4回	2020年11月19日(木) 18時半～20時	富田ふれあい 文化センター	50名	テーマ「子どもたちが主役となった施設づくり」 講師：類設計室(株)

エ. 視察学習会

名称	日時	視察先	参加者数	内容
第1回	2020年7月11日(土) 13時~16時	大阪府箕面市 NPO 法人暮らしづく りネットワーク北芝	16名	① 北芝のまちづくりの取り組み ② らいとぴあ21・Each 合同会社・ コミュニティスペース南の家見学
第2回	2020年11月25日(水) 16時~18時	大阪府箕面市立 とどろみの森学園	10名	① とどろみの森学園の概要・取り組み ② 施設型小中一貫校施設見学

オ. ワーキンググループの開催

「教育コミュニティづくり」「コミュニティ・スペース」ワーキンググループについては各事業の実施状況により随時打ち合わせや会議を実施しました。

カ. プロジェクト1「コミュニティ・スペースづくり」

まちづくりの先進地への視察や学習会を通じて、富田地域に一番合う居場所についてプロジェクトで協議。多様な人が「つながる・つつみこむ・出会う」空間を富田地区に創出することをコンセプトに当法人としてはじめてクラウドファンディングを実施しました。そこで得られた寄付と民間助成金を財源に民家を全面改装し「コミュニティ・スペース」を生み出しました。

・名称「コミュニティ・スペース Niko Niko」

※第四中学校7年生が「総合的な学習の時間いまとみらい科」の学習の一環でコミュニティ・スペースの名称案を提案、募集し、プロジェクトメンバーおよび当法人理事・社員、関係者による投票により決定しました。また、外壁に設置する大看板については富田小学校の5年生が手形をデザインし作成しました。

キ. プロジェクト2「教育コミュニティづくり」

「教育コミュニティ」（大阪大学大学院教授故池田寛先生提唱）をキーワードに小中学校の総合的な学習の時間「いまとみらい科」の取り組みに地域、大阪大学等が協力し、授業実践づくりを行いました。これらの取り組みは今後、大阪大学等研究者と協働し「書籍化」、「共創知」として全国へと発信する予定としています。

（高槻市立富田小学校5年生「バリアフリープロジェクト」）

日時	児童数	内容および講師
9月17日（木） 9時半～11時	33名	「ひとりぼっちのいないまちづくり - 新型コロナ禍の緊急支援の取り組み」 （ゲスト：タウンスペース WAKWAK 事務局長岡本工介）
9月18日（金） 9時半～11時		「外国人との共生」 （ゲスト：大阪大学人間科学研究科大学院生大川ヘナンさん）
9月28日（月） 9時半～11時		「新型コロナ禍における子ども支援の取り組み」 （ゲスト：全国子ども食堂支援センター統括マネージャー三島理恵さん）
3月8日（月） 9時45分～11時45分		コミュニティ・スペースの看板をクラス全員の手形でデザイン ※改装したコミュニティ・スペースの外壁に設置

（高槻市立第四中学校7年生「DTJプロジェクト」）

日時	児童数	内容および講師
12月10日（木） 13時半～14時半	137名	「ひとりぼっちのいないまちづくり - コミュニティ再生事業の取り組み」 （ゲスト：タウンスペース WAKWAK 事務局長 岡本工介）

コミュニティ・スペースの名称案について7年生が検討および全学年にも募集。

以下の9つの名称案から「Niko Niko」に決定しました。

6. ほっと home 2. My home 3. HAPPY home 4. 我が町休息所 5. ベストハウス
6.Niko Niko 笑顔 7. (笑う門には福きたる) 8. We can!!

ク. 富田地区インクルーシブコミュニティ・プロジェクト・アニュアルレポートの作成

ー 昨年の「ほっとステーションつながり BOOK」、昨年の「未来にわたり住み続けたい町提案書」に引き続き当実践をアニュアルレポート（3部構成）として作成しました。

- ・ 第1部 コミュニティ再生事業の様子
- ・ 第2部 学校の取り組み
- ・ 第3部 理論編（大学研究者による当事業の価値づけ）

2) 生きがいと居場所づくり事業

① ボーダレスアート事業

ア. ボーダレスアート教室「わんだーぼっくす」の開催

日時および受講者数：前期開講：6月～10月（8月は休み）の月2回 11名受講

後期開講：11月～2月の月2回 10名受講

*新型コロナウイルス感染拡大に伴い、5月開講を6月に延期し、年明け後の再拡大の伴い3月も臨時休講となりました。

場所：青少年交流センター2Fレッスンルーム

後援：高槻市・市教育員会、高槻市社会福祉協議会、社福つながり・つながり後援会

イ. ボーダレスアート展「わんだーぼっくす」の開催（オンライン配信）

日時：12月4日（日）～25日（金）

内容：わんだーぼっくす受講生作品および公募展入選作品、「西淡路希望の家」美術部作品特別出展

動画配信数：153名(YouTube動画配信)

後援：高槻市・市教育員会、高槻市社会福祉協議会、社福つながり・つながり後援会、フェスタ・ヒューマンライツ2020実行委員会

協賛：社会福祉法人ノーマライゼーション協会「西淡路希望の家」

3) ひとりぐらし高齢者・障がい者・若者支援事業

①地域支え合い事業

ひとりぐらし高齢者および高齢者世帯への食事や買い物、家事支援、安否確認、心のケア等様々な地域における社会的支援の仕組みづくりを構築することを目的に実行委員会立ち上げと「高齢者のお困りごと」訪問調査を実施しましたが、ボランティアサービス提供者の確保等の課題があり、事業スタートには至っていません。今後事業実施に向け協議を進めます。

②障がい者グループホーム整備事業

ア. グループホーム「コラム富田」につづく女性用グループホームの整備検討

重度障がい者夜間支援型グループホーム整備については、2018年5月に富田地域内で男性7名入居のグループホーム「コラム富田」開設入居となりました。

引き続き女性用グループホーム整備に向け社福つながり後援会家族会ひだまりと共に検討を進めてきました。

4) 青少年・子育て支援事業

① 新型コロナ禍緊急支援プロジェクトの実施

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、昨年度下半期事業はいずれも中止せざるを得ない状況が続き、また、同じく法人本体も財政面で大きなダメージを受けていました。ただ、その中でも多くの SOS が事務所に日々届いている中、「新型コロナウイルス対策緊急支援プロジェクト」を立ち上げ「食・学び・制度の一体的支援の仕組」を実施しました。

・期間：5月1日～2021年3月31日

ア. 食の支援：フードパントリー型富田ただいま食堂

毎週水曜日に富田ふれあい文化センターを会場に行っていた「ただいま食堂」を M's カフェによるお弁当・花パンによる食パンを弁当配付型で実施。フードドライブ等による食材提供もあわせて実施しました。

イ. 学びの支援：オンライン学習支援わんぴーす

毎週月・水で行ってきた学習支援について、教員 OB/OG、学生の力をお借りしオンライン対面授業を実施しました。併せて事務所を媒介に日々の学びの積み重ねをするために週3で学習プリントの添削を実施しました。

ウ. 制度への伴走支援・心のケア

地域の団体と協働し、特別定額給付金等制度が届きにくい層への手続き等の伴走型支援をするため230世帯にちらしとマスクを配布し、手続きの支援や相談を実施しました。

エ. 緊急時生活支援

こちらは当初の予定にはなかったものの、市内の高校やフードバンク OSAKA 等から緊急性の高いケースが入っており、その声に応える形で高槻市内全域を対象に緊急時生活支援として随時、弁当や食材の提供を行いました。

② こどもの歩みバックアップ「生活困窮家庭の子どもたちへの学習支援事業」

生活保護受給および生活困窮世帯や家庭困難層等様々な課題を持つ中学生を対象に、学習支援を行うことで低学力の克服と地域における「貧困の連鎖」を防止する事を目的に2014年8月より学習支援事業を実施しています。今期は、新型コロナ禍緊急支援プロジェクトに位置付けオンライン（ZOOM）と対面の双方による実施を行いました。

ア. 学習支援教室わんぴーすの通年開催

生活困窮以外に発達障がい等で課題を持つ生徒のニーズも高く、教員OB・OG、大学生の講師体制の増員を図る等により事業の円滑な実施に努めました。結果、中学3年生は全員希望の進路に進むことができました。

期間：5月～3月の毎週2回 月・水の午後7時～9時

※緊急事態宣言等の発令の際には6時～8時開催

場所：富田ふれあい文化センター2F 学習室1・交流室1・2

対象：中学生7名 ※卒業した高校生も参加

参加費：12,000円/月 ※要支援家庭6,000円/月(教材費・保険代含む)

講師体制：教職員経験者6名および地域大学生7名のシフト制で実施

後援：高槻市・高槻市教育委員会・社会福祉法人高槻市社会福祉協議会

イ. 青少年相談事業並びに中学校等との連携

- ・ 青少年相談事業を通じた親支援も並行して実施
- ・ 生徒1人1人の特性や課題等について当該中学校との連携会議を概ね2～3か月に1回のペースで開催

ウ. わんぴーす夏期講習

- ・ 時期：8月20日（木）・21日（金）・22日（土）いずれも18時～21時
- ・ 場所：富田ふれあい文化センター
- ・ 内容：受験勉強
- ・ 対象：中学3年生 3名参加

エ. わんぴーす冬期講習

- ・ 時期：1月15日（金）・16日（土）いずれも18時～21時
- ・ 場所：富田ふれあい文化センター
- ・ 内容：受験勉強
- ・ 対象：中学3年生 3名参加

③「ただいま～と言える子どもたちの居場所をつくる」

ア. 子どもたちの夕刻を支える場「ただいま食堂」

趣旨：毎年、ケア付き食堂をコンセプトに「一緒に食卓を囲むことを通じてつくられた信頼関係をもとに、家族のこと学校のこと、進路のことといった子どもの生活課題への対応を目指す」ことを趣旨に実施してきましたが新型コロナウイルスの影響によりフードパントリーとして実施しました。

期間：5月13日（水）～3月17日（水）の毎週1回 水の15時～17時

場所：タウンスペース WAKWAK 事務所

対象：わんぴーすを受講する中学生及びその兄弟、姉妹 16名が登録

参加費：子ども 100 円・大人 300 円

後援：社会福祉法人高槻市社会福祉協議会

イ. 富田版子ども食堂「富田わくわく食堂」(新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止)

趣旨：共生食堂をコンセプトに「地域に住む多世代、子どもから高齢者まで多くの人たちがごちゃまぜに交わる交流拠点」を趣に開催。今期は、NPO 法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ（代表湯浅誠さん）の協力のもと、吉本興業株式会社・東京おもちゃ美術館等、地域・家庭・学校・行政・大学・企業など多セクター40 団体以上の協働で実施の予定でしたが新型コロナウイルスの影響により中止となりました。

日時：2月20日（土）11時～15時（中止）

テーマ：「未来にわたり住み続けたい町」

場所：富田ふれあい文化センターおよび社会福祉法人つながり

ウ. 「子どもの居場所づくりレポート Vol2」の作成

これまでの当法人における子どもの居場所づくり事業について「子供の未来応援基金新型コロナウイルスの感染拡大への対応に伴う緊急支援事業」「むすびえ子ども食堂・新型コロナウイルス対策緊急支援プロジェクト」を活用し「子どもの居場所づくりレポート Vol2」としてまとめました。

④社会的養護で暮らす子ども達のエンパワメント事業(新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止)

ア. 児童養護施設の子どもたちを対象としたプログラムの実施

虐待や一人親、障がいなどの社会的、経済的事由により児童養護施設に通う児童（社会的養護で暮らす子どもたち）を対象に自然体験活動を行う中で、生きる力や対人関係形成力、自己肯定感を継続的に育む事業を例年実施していましたが、新型コロナのため中止となりました。

イ. 児童養護施設プログラムのためのボランティア・スタッフ研修の実施（新型コロナウイルスの感染拡大防止のため一部開催）

将来、学校の教職員や児童養護施設など教育関係や福祉、対人援助職を目指す学生を対象に、研修や実践を通して虐待や発達障がいに対するより深い理解と様々な背景を持つ子どもたちと関わる実践力を育むことを目的に例年開催していますが、今期は研修を中止し、ボランティアの交流会のみ開催しました。

テーマ：子どもたちの行動の背景にあるものに寄り添うために

対象：将来、教職員や福祉職などの教育関係、対人援助職を目指す学生 12名

場所：富田ふれあい文化センター3階和室

日時：3月6日(土) 午前10時～午後5時

内容：スタッフの交流

5) CSW（コミュニティソーシャルワーク）事業

①コミュニティソーシャルワーク事業

中学校区でのフォーマル（公的機関）・インフォーマル（民間その他）の連携による支援ネットワークという長年培ってきたまちの財産を活かし、また発展しながら子どもから高齢者の困りごと相談への対応や解決、関係機関へのコーディネートを行いました。

ア. 青少年の支援のための学校教育との連携

学習支援わんぴーす受講生やただいま食堂等の日々のケース対応に当たっては、当該の小、中学校と密に連携を図り、支援を行いました。また、深刻なケースに当たっては、市のSSWやカンガルーの森などの関係機関等とも当法人の社会福祉士やスタッフが連携しケースカンファレンスを行いました。

イ. 高齢者等住民支援のための関係機関との連携

高齢者の支援に当たっては富田ふれあい文化センターの介護相談員や地域の民生委員と連携し課題解決を行いました。また、よりネットワークを広げるため富田地域包括支援センターが開催する地域ケア会議へ出席しました。

6) 人材育成事業

富田まちくらしづくりネットワークや地元自治会等への活動参加を行い地元住民のボランティア発掘を行うとともに、多種多様な講座の開催をはじめ地域内外からの若年層のマンパワーの発掘のため平安女学院大学や大阪人間科学大学、関西大学、大阪大学等との連携を行う中で当法人のさまざまな事業のボランティア参画へとつなぎました。

① 連続講座「富田ものがたり」の開催（新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止）

富田地域内施設において業務として従事する方（行政職員、学校、幼稚園、保育所等教職員、民間施設職員等）やボランティア活動を行う方々を対象に、富田地域の特性や施設、団体の設立の背景や歴史に対する知識を深める連続講座を例年開催していますが、今期は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止しました。

V. 収益事業、その他事業

法人の社会貢献事業を支えるための持続的かつ安定した財政基盤を強化することを目的として以下の事業を行いました。

1) 富田地区視察の受け入れおよび講師派遣事業

市内外や他府県の行政機関や福祉施設等へ職員が講師として積極的に出向き、包摂型のまちづくりの実践談や人権啓発の推進を図りました。また、富田地区視察の受け入れを積極的に行いました。ここで得た報償費(収益)については、法人の安定的な基盤づくりに寄与するとともに法人の社会貢献事業へ循環するべく行っておりますが、今期は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により講演や視察が軒並み中止となるなど収益に大きな打撃を受けました。

①スーパーバイズ等派遣

業務内容	契約期間	依頼者
北芝公営団地集会所を活用した寺子屋とアウトリーチ型学習支援による地域協同システムの構築事業 ・事業運営委員会スーパーバイザー	5～3月	NPO 法人暮らしづくりネットワーク北芝

②研修講師派遣

	事業名	日時	主催者
1	大阪大学人間科学部渥美公秀ゼミ	6月2日(火)	大阪大学人間科学部渥美公秀ゼミ
2	大阪大学マイノリティ教育ラボ	7月9日(木)	大阪大学マイノリティ教育ラボ
3	社会人権・同和教育啓発専門講座	7月22日(水)	島根県人権啓発センター

4	三島人権研究協議会 人権講演会	8月4日(火)	三島人権研究協議会
5	島本町教職員対象人権教育研修	8月21日(金)	島本町人権教育研究協議会
6	泉南市 NPO 法人ほしぞら 「学習支援いっぽとほしぞらただいま食堂 ボランティア研修」	9月2日(水)	NPO 法人ほしぞら
7	三重県四日市市人権プラザ天白 人権講演	9月6日(日)	三重県四日市市
8	島根県出雲市人権・同和教育基礎講座	10月3日(土)	島根県出雲市
9	島根県浜田市白砂公民館 人権同和教育研修会	10月10日(土)	島根県浜田市立白砂公民館
10	常磐会短期大学「コミュニティと福祉」	10月12日・19日 2コマ×2日(4回)	常磐会短期大学
11	京都市立向島東中学校	12月16日(水)	京都市立向島中学校
12	高槻第四中校区「つなぬく」冬期研	12月24日(木)	高槻第四中校区
13	大阪府人権教育研究協議会 「人権・部落問題学習研究集会」	録画(1月9日よ り配信)	大阪府人権教育研究協議会
14	解放大学フィールド・レポート	2月3日(水)	部落解放・人権研究所
15	常磐会短期大学新入生歓迎プログラム 事前リーダー研修	2月24日(水)	常磐会短期大学
16	貝塚市立第三中学校 人権講演	2月17日(水)	貝塚市立第三中学校
17	池田市人権リーダー養成講座	3月18日(木)	池田市

2) 富田地区の視察の受け入れ

	視察受け入れ先	日時
1	NPO 法人くらしネット 21	7月21日(火)
2	大阪大学大学院未来共生多言語演習受講生	9月11日(金)
3	大阪教育大学大阪同和教育推進校実習生組合	9月29日(火)
4	住友電気工業	11月20日(金)

3) 事務受託事業

部落解放同盟高槻富田支部、富田富寿栄老人会、富田地区企業者組合、人権ネットワーク、社会福祉法人つながり後援会・家族会ひだまり、高槻富田生きがい事業団と事務受託契約を行い、計6団体の事務受託について適正に事業を執行致しました。

4) マイノリティと出会う旅 スタディツアーの準備

2020年度以降に開催予定のアメリカ先住民居留区へのスタディツアーの開催に向け、法人事業に携わるスタッフとともにツアー準備会を開催しました。

期間：7月26日(日)～8月8日(土)

行先：アメリカ・サウスダコタ州 ネイティブアメリカン居留区ほか

内容：①マイノリティ アメリカ先住民との出会い

②先住民の伝統的儀式のサポート

参加者：3名

その他：その他のツアー先についても検討するとともに旅行業取扱管理者の取得についても検討しました。